

護願寺は日田市では数少ない黄檗宗の寺で、盆地を望む丘陵上にある。奈良時代に造られたと伝える薬師如来像など貴重な文化財がある。また鏡坂は「豊後国風土記」日田郡条の景行天皇巡幸説話の故地である。現在公園として整備されており、ここからの眺望は絶景といえるところである。



護願寺遠望



小畑神社



鏡坂公園



松尾神社

また前述のように隈川雑詠五首の詩に詠まれたと思われる穴平観音も、鏡坂に近い上野地区にあるという。今後の精査を待ちたい。

酒楽神社（徳瀬善神王社）（図1・35）
なお石井地区への道の途中では、

・天保十一年（一八四〇）

二月六日。天気清美ナリ。散歩ヲ試ム。妻亦往ケリ。其ノ他同行スルモノ久兵衛、範治、祐之、鶯五郎、魚沖ナリ。日隈ヲ経、徳瀬ニ至リ、善神王ノ祠ニ謁ス。田辺元春ヲクレテ至レリ。帰路新原黒男祠ニ休ンテ小酌ヲナセリ。昔年塾ノ炊婦タリシ徳兵衛力妻、来ツテ周旋セリ。日暮ニ及ンテ帰レリ。

とあるように徳瀬善神王社にも詣でている。徳瀬善神王社は今、酒楽神社といい、木造薬師三尊像がある。

帽子被山（図1・56）

このほか文政十三年（一八三〇）には八月二十四日。伸平、謙吉ト山ニ遊フ。児玉茂、森成作同行セリ。門生従フ者四十三人ナリ。石井村ニ山アリ。帽子被ト称ス。家ヲサルコト一里。朝夕望見スル所ナリ。因ツテ此ニ遊ベリ。山高キニ非ザレドモ遠望スヘシ。東ハ油布山ヲ見、西ハ肥筑ノ諸山ヲ見ル。行厨ヲ発キ晩ニ及ンデ帰レリ。

とある。この帽子被は、石井の穴観音古墳



帽子被山遠望



酒楽神社